

新年賀謹



活発に話し合える議会を

甲賀市議会議長 **辻 重治**

昨年、議会報告会を2回開催させていただきました。開かれた議会をめざして取り組みを進めてまいりました。報告会では、さまざまな意見を頂き、皆様と一緒にまちづくりができるきっかけと考えております。

今年も議会基本条例に基づき、開かれた議会、活発に話し合える議会をめざし、取り組みを進めてまいりますので、皆様方の一層のご指導・支援を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、平成28年が市民皆様にとりまして、健康で幸多き素晴らしい年となりますよう、また、甲賀市にとって最良の年でありませう、議員一同心よりご念願申し上げます。

甲賀市は、本年市制施行12年目を迎えます。これまで、財政の健全化と生産性の高い行政運営に取り組んでまいりました。しかし、少子高齢化という構造的な課題に立ち向かい、住み良い環境を確保するとともに、活力あるまちを維持し、持続的な市政発展と福祉の向上は常に努力を続けなければなりません。

昨年10月、新たな内閣が発足し、スローガンに「一億総活躍社会の実現をめざす」とされ、地方の力を最大限に生かし、熱意ある地方の創意工夫を全力で応援し、地方創生、地方分権が更に進められます。

地方創生、地方分権の進展により、自治体の主体的な取り組みや自主的な決定など、地方行政の責任範囲は拡大してまいります。

市民の代表機関として、議会の果たす役割は大きく、また重くなってまいります。そうした中であつて甲賀市議会は、活発に話し合える議会、またわかりやすく関心を持ってもらえる議会であり、存在感のある議会でありたいと考えます。

議員および議会活動は、公正性と透明性を持ち情報公開や市民の政策活動への多様な参加を推進しなければなりません。

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた平成28年の新春をお健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

昨年、市議会に対しまして格別のご理解とご指導を賜り誠にありがとうございました。

甲賀市長 **中嶋 武嗣**

今年も元氣いっぱいの甲賀市を内外に発信し、羽ばたくことに全力を注いでまいりる覚悟があります。なにとぞ、市民皆様にとりまして平和で幸多き一年でありますことをお祈りいたします。

昨年10月、わたしたちのまちは、滋賀県では初めてとなるセーフコミュニティの世界認証の内定を得ることができました。安心で安全な生活は、行政だけでなく市民参加のもとで紡ぎ出していくものです。みんなが笑顔で明日という日を迎える同じ目的をもって手を取り合っていくことができるまちは、人々の憧れを招く当市の魅力になるはずで

昨年10月、わたしたちのまちは、滋賀県では初めてとなるセーフコミュニティの世界認証の内定を得ることができました。安心で安全な生活は、行政だけでなく市民参加のもとで紡ぎ出していくものです。みんなが笑顔で明日という日を迎える同じ目的をもって手を取り合っていくことができるまちは、人々の憧れを招く当市の魅力になるはずで

昨年10月、わたしたちのまちは、滋賀県では初めてとなるセーフコミュニティの世界認証の内定を得ることができました。安心で安全な生活は、行政だけでなく市民参加のもとで紡ぎ出していくものです。みんなが笑顔で明日という日を迎える同じ目的をもって手を取り合っていくことができるまちは、人々の憧れを招く当市の魅力になるはずで

昨年10月、わたしたちのまちは、滋賀県では初めてとなるセーフコミュニティの世界認証の内定を得ることができました。安心で安全な生活は、行政だけでなく市民参加のもとで紡ぎ出していくものです。みんなが笑顔で明日という日を迎える同じ目的をもって手を取り合っていくことができるまちは、人々の憧れを招く当市の魅力になるはずで

昨年10月、わたしたちのまちは、滋賀県では初めてとなるセーフコミュニティの世界認証の内定を得ることができました。安心で安全な生活は、行政だけでなく市民参加のもとで紡ぎ出していくものです。みんなが笑顔で明日という日を迎える同じ目的をもって手を取り合っていくことができるまちは、人々の憧れを招く当市の魅力になるはずで



市民幸福度の追求

甲賀市長 **中嶋 武嗣**

明けましておめでとうございます。平成28年の幕が開け、市民皆様には清々しい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年は、市政推進に、格別のご理解、ご協力をいただき有難うございました。本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、日本の現状は、政治・経済にあつても世界の舞台にあつて激流に翻弄され、外交では米国や中国の動向など、さまざまな不確実な要因が取り巻いております。国内の景況も大手企業や大都市に偏り、国内全域に行き渡っていない感があります。加えて、避けることのできない人口減少社会が大きな課題として行く手に横たわっております。

私は、市長就任来、一市一制度の中で完結できる甲賀市をめざさなければならぬ、ということをお願いしてまいりましたが、まさに実力を備えたまちでなければ、この困難を乗り越えることができない時代に入ったということを実感しております。

市では既に、将来に渡り性別や世代を問わず、市民幸福度を追求した施策を立案し、実行に移していくための「甲賀の國づくりプロジェクト」を設け、具体的な検討を進めながら、着手すべきものは平成28年度当初予算に盛り込んでいくこととしております。

遅くも持続できるまちをつくるため、子育て支援や教育、医療や福祉、防災、防犯、雇用や生活環境の充実など、あらゆる分野に渡り将来を見越した無駄のない事業を選択し、積極的に取り組んでいくこととしています。これら施策の一つひとつは、甲賀市の発展と併せ、全ての市民皆様が甲賀市民であることへの誇りや郷土愛をさらに強めていただくものでなければならぬ、と考えております。

昨年10月、わたしたちのまちは、滋賀県では初めてとなるセーフコミュニティの世界認証の内定を得ることができました。安心で安全な生活は、行政だけでなく市民参加のもとで紡ぎ出していくものです。みんなが笑顔で明日という日を迎える同じ目的をもって手を取り合っていくことができるまちは、人々の憧れを招く当市の魅力になるはずで

昨年10月、わたしたちのまちは、滋賀県では初めてとなるセーフコミュニティの世界認証の内定を得ることができました。安心で安全な生活は、行政だけでなく市民参加のもとで紡ぎ出していくものです。みんなが笑顔で明日という日を迎える同じ目的をもって手を取り合っていくことができるまちは、人々の憧れを招く当市の魅力になるはずで